

2026年4月8日

1 どんな種類の助成金があるのですか？

当法人が提供している助成金は3種類あります。

- (1) 研究部門・間接経費選択可
- (2) 奨励研究部門
- (3) 教育普及促進部門

詳細についてはそれぞれの申請書類をご一読下さい。

2 誰が応募できますか？

博物館・美術館等の文化施設に勤務する職員であり、研究実績を積んできた方が応募対象となります。(行政職・学芸職・埋蔵文化財担当職・常勤・非常勤等を問いません)。その際、応募はe-Rad研究者番号を持たない方(e-Rad研究者番号：独立行政法人日本学術振興会が交付する、科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金 に応募しようとする研究者に付与される研究者番号)に限定し、かつこうした助成金への応募に対して勤務先の上長の承認が得られることを条件としています。*** 1の(2)、奨励研究部門への応募については、上長の承認は必須ではありません。**

3 助成金1部門に対して、個人と団体に応募者を分け、同一テーマで応募することはできますか？

同じ研究内容を別名義で応募することは、失格の対象となります。応募する部門に対して個人と団体とで、それぞれ研究内容が異なる場合は問題ありません

4 海外在住でも応募できますか？

募集要項に定める条件を満たしていれば可能です。ただし日本の銀行口座を持っていること(共同研究の場合、研究代表者が日本の銀行口座を持っていること)が条件に含まれます。

5 助成金を、海外にある博物館の所蔵品の研究にあてることは可能ですか？

助成金額の範囲内で必要な経費を拠出することは可能です。

6 飲食費は対象になりますか？

上限はありますが、必要とされる出張時に一定金額を助成金から拠出する事は可能です。詳しくはそれぞれの応募要項・並びに申請書サンプルを参照してください。

7 同一の研究テーマについて、他の団体が主催する助成事業からも助成金の給付を受けることは可能ですか？

可能です。応募書類の中に重複して受け取る助成金の支給元を記載する箇所があります。

8 成果物の提出は求められますか？

助成期間終了後 3 か月以内に、調査研究により得られた成果、今後の課題及び支出した金額等についての「完了報告書」「会計報告書」が必須となります。

9 助成金の使途報告はどこまで詳細に必要でしょうか？

応募書類の中に申請助成金の内訳書があります。この内訳書の費目について、記載が必要となります。また単価で3万円を超える支出については、細目が必要となります。

10 来年卒業予定の学生なのですが申請は出来ますか？

本助成金は、博物館・美術館等の文化施設に勤務する職員で、研究実績を積んできた方が応募対象です。現在学生でも、応募条件を満たす方であれば応募可能です。

11 募集開始と締め切りを教えてください

応募は例年7月開始となり、締め切りは7月31日です。(日本時間の17時まで)